



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2023 7 月号

Vol.149

毎月1回発行(通巻149号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 http://www.JMMPA.jp/

第12回
「全国医療経営士
実践研究大会」
演題発表登壇者決定!

会場で体感しよう! 医療経営士が創造する 病医院の未来像

10月8日(日)にブリーゼプラザ(大阪市)で開催する第12回「全国医療経営士実践研究大会」大阪大会の演題発表に登壇する医療経営士が決定した。予定では8枠だったが応募者多数により採用枠を拡大し、最終的に10名が登壇することになった。登壇者と発表テーマを紹介する。

10名の医療経営士が登壇 会場とのディスカッションも

全国大会のメインプログラムである演題発表は、医療経営士が日頃から現場で取り組んできた成果を報告する場。参加者にはそこで得た知見を自らの職場にフィードバックしていただくことで、医療界全体を活性化させていくことを目的としている。

今大会では10名の医療経営士が登壇、すべて医療機関所属の方となった(表)。過去に登壇経験があるのは昨年に続いての発表となる大宮謙一氏と、2年ぶり2回目の登壇となる辻川幸智子氏の2名で、8名は初の登壇となる。

発表は5名ずつ2つのセッションに分け、各セッションの発表終了後は審査委員長である吉長成恭氏(甲子園短期大学特任教授・教育研究センター長)が座長を務め、会場とのディスカッションや質疑応答を行う。

全国の医療経営士が描く病医院の未来像とは。その未来像に向けた実践活動はどのようなものか。進化する医療経営の最前線の取り組みが語られるのを楽しみにしたい。

会場に足を運んで 仲間とともに学ぼう!

今大会ではライブ配信や開催後のアーカイブ配信を行う予定はないため、10名の発表を聴くことができる

のは会場に参加された方のみとなる。会員の皆さまにはここでしか聞けない貴重な発表を聞き、学び、そこで得た内容を共有することで、医療経営士としての活躍の幅を拡げていただくとを期待したい。

参加申し込みは全国大会の特設サイトから受付中。定員に達し次第締め切りとなるので、大阪近郊の方はもちろんのこと、遠方から来場される方は交通・宿泊の手配と合わせ、ぜひ早めにお申込みいただきたい。

演題発表者と演題タイトル一覧(発表順)

発表者名	所属機関・役職	支部	等級	演題タイトル
久保崇彦	山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院医事課	中国	3級	地域連携と病床再編による経営改善戦略
山内剛志	社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院 情報システム室兼医事室兼診療情報管理室	九州	2級	休床・病棟閉鎖からの再スタート〜ピンチをチャンスに! 地方中小病院が取り組む3つのチャレンジ〜
横内聖輝	社会医療法人加納岩財団事務局 経営企画室	関東	3級	経営企画室の挑戦〜新米院長と協働した 回復期リハの経営改革〜
平石拓也	医療法人ひらまつ病院財務部	九州	3級	未来を描く人間力が地域医療を支える原動力
田中賢司	医療法人社団宏和会岡村記念病院 事務部	東海	2級	医療経営士の地球の病院の歩き方 熱風アジア編
大宮謙一	東京ツナクリニック診療部 (院長)	関東	1級	新規開設診療所における新興感染症に対する 取り組みのまとめ
蔵地章仁	豊川市民病院薬局(薬剤師)	東海	3級	抗菌薬適正使用支援加算の医療効果と 経済効果に関する研究
城下麻美	国民健康保険小松市民病院 総務課	北陸	3級	オンライン資格確認の利用向上を目的とした 現場の取り組みと見えてきた課題
安藤寛知	一般財団法人大原記念財団 大原総合病院中央病歴管理室	東北	3級	PHRシステムの導入・活用による 顧客満足度向上への取り組み
辻川幸智子	医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院 総務課総務係	関西	2級	将来にわたって必要とされる病院を目指して

※7月10日現在。等級は医療経営士資格等級。演題タイトル等に変更になる可能性があります。

第12回 全国医療経営士実践研究大会

大阪大会

開催日
2023年
10月8日
日

大会テーマ

医療経営士が創造する 病医院の未来像 進化する医療経営とその成長戦略

参加エントリー
ホームページにて
受付中!

会場 ブリーゼプラザ・
小ホール
大阪市北区梅田2-4-9
ブリーゼタワー7F



大会運営委員長 | 清水 鴻一郎

日本医療経営実践協会関西支部支部長 / 一般社団法人京都私立病院協会会長 /
京都清水メディケアシステム会長 / 医療法人清水会理事長 / 元衆議院議員

【お問い合わせ先】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-3553-2906 http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokutaiikai/

2023年度「医療経営に関する研究助成」

懸賞論文・第5回「日本医療経営実践賞」
最優秀賞、優秀賞が決定!

過去最多6本の応募を数え、選考委員会の熱い議論と厳正な審査を経て、最優秀賞1本、優秀賞3本が決定した。優秀賞においては、初の医療機関外勤務者および女性による受賞者が誕生、新型コロナ5類移行を象徴するかのごとく新たな展開・活況の兆しが見え始めた!

表 懸賞論文・第5回「日本医療経営実践賞」受賞者一覧

最優秀賞(日本医療経営実践賞)	
氏名(所属・肩書)	論文タイトル
藤井敬也 (医療経営士3級) 西脇市立西脇病院 事務局長 [共同研究 他7名]	「医療経営士として診療報酬改定等の取組事例——経営改善・業務改善にエクセルの活用」
優秀賞	
氏名(所属・肩書)	論文タイトル
石原明洋 (医療経営士1級) 外山法律事務所 弁護士	「医療機関における内部通報制度の積極的活用」
小栗篤 (医療経営士2級) 株式会社近大アシスト 営業部主任	「移り変わりゆく時代における医療機器商社(卸売)の役割について」
城下麻美 (医療経営士3級) 国民健康保険小松市民病院 総務課医事担当[共同研究 他2名]	「医療DX推進のためのオンライン資格確認の導入・普及に関する経過と当院での取り組みから見た現場における課題」

白熱した議論の末に
波乱の逆転受賞の一幕も

今回の受賞者は表のとおり。歴代最多の応募数に加え、優秀賞受賞者のうち、石原明洋氏および小栗篤氏は初の医療機関外勤務者による受賞となった。共同研究ではあるが、城下麻美氏は代表執筆者として初の女性受賞者である。

また、第1回(2019年度)の応募(医療機関勤務者3本、医療機関外勤務者2本)以来、第2回(2020年度)〜第4回(2022年度)まで医療機関勤務者

のみの応募が続いていたが、今回は、医療機関勤務者3本、医療機関外勤務者3本の応募となった。

事前審査において最高評価を集めていた論文が選考委員会で議論の末、受賞を逃すという波乱を含め、選考は白熱を極め、各論文のレベルの高さがうかがえた。

「論文」の名を冠してはいるが、「事例報告」による応募も可能だ。日頃の実践研究活動の成果を総括・集大成する最高のチャンスとして、ぜひ果敢にチャレンジしていただきたい。

選考委員会委員長による
講評&メッセージ

尾形 裕也

「医療経営に関する研究助成」
選考委員会委員長
九州大学名誉教授

この度、第5回懸賞論文「日本医療経営実践賞」の受賞者が、厳正な審査を経て決定されましたので、選考委員会委員長として講評を述べたいと思います。

今回は、これまでの5回の募集の中では、最多の6本の応募論文が提出されました。全体の印象としては、相対的にレベルの高い研究が多く、選考委員会の検討においても白熱した議論となりました。

そうした中で、最優秀賞には藤井敬也氏(医療経営士3級)らによる共同研究「医療経営士として診療報酬改定等の取組事例——経営改善・業務改善に

エクセルの活用」が選定されました。同研究は、病院経営・業務改善において、Excelを活用した実践事例をわかりやすく説明したもので、他の医療機関においても参考となる有用性の高い研究として高い評価を得ました。

加えて、優秀賞として3本が選ばれました。石原明洋氏(医療経営士1級)による「医療機関における内部通報制度の積極的活用」は、医療機関における内部通報制度の活用について法律的観点から幅広く論じたユニークな研究です。また、小栗篤氏(医療経営士2級)による「移り変わりゆく時代における医療機器商社(卸売)の役割について」は、医療機器商社という視点から医療機器物流の課題を論じた新規性の高い研究でした。さらに、城下麻美氏(医療経営士3級)らによる「医療DX推進のためのオンライン資格確認の導入・普及に関する経過と当院での取り組みから見た現場における課題」は、病院の現場におけるオンライン資格確認の導入

に関する課題が具体的に記述されており、実践的かつタイムリーな研究として評価されました。

以上の受賞4研究論文と、惜しくも受賞を逃した2研究論文との差は小さなものであり、前述したように、選考委員会では最後まで活発な議論が行われたところでした。

いずれにしても、今回、応募数という量のみならず、質的にも優れた研究論文が多く提出されたことは、選考委員会として、まことに慶賀に堪えません。今後とも、医療経営士の方々には、現場の実践の中から具体的な課題を見出し、その解決に向けた取り組みを研究としてまとめるという作業を続けていかれることを期待しています。

「玉も磨かざれば光無し」という言葉があります。医療経営士という資格は、まさに「玉」であり、絶えず磨き続けていく必要があります。来年度以降も各位の積極的な応募を心より期待しております。

事務局 掲示板

1級資格認定者のみに許された特権 医療経営指導士の制度を活用しよう

当協会では医療経営士1級の方が申請できる「医療経営指導士」の制度を設けています。協会への登録申請により、「医療経営士」「医療経営指導士」の名称を冠した試験対策講座や研究会・講演会の主催が可能となり、事業に伴う収益を得ることも可能。2023年7月1日現在で11名の方が登録されており、大学講師や研究発表や原稿執筆、WEB発信等の多彩な活動を行っています。資格要件や申請方法の詳細については当協会ホームページでご確認ください。

「医療経営指導士」制度について

<http://www.jmmpa.jp/support/shidoushi/>

会報誌『理論と実践』投稿募集中 自分の声を会員に届けよう!

当協会が発行している会報誌『理論と実践』では、会員の皆様からの投稿を募集しています。日頃の職務における疑問や悩みから、業務改善へ向けたアイデア、病院経営や医療政策・制度に関する論文や問題提起等、内容は自由です。採用原稿については薄謝を進呈いたします。お気軽にご投稿ください。

【お問い合わせ先】

日本医療経営実践協会事務局

03-3553-2906 info@jmmpa.jp

PICK UP 研究会

協会本部

日本医療経営実践協会主催オンラインセミナー

「介護事業者の視点から考察する“医療・介護連携”」

2024年度に迫る診療報酬・介護報酬の同時改定。厚生労働省では3回にわたり医療分野と介護分野の意見交換会が行われ、障害サービスも含めた地域包括ケアシステムのさらなる進展へ向けて、これまで以上に医療と介護の連携がポイントとなることが予想されています。

今後さらに増加する認知症の方への対応、病院・施設・地域のシームレスな連携、DXやICTを活用した連携のあり方など、課題山積の医療・介護連携。この課題を解

決していくためには、医療経営士・介護福祉経営士が重要な役割を担う必要があります。

本セミナーではこれからの医療・介護連携のあり方について、亀梨和也主演で話題を呼んだWOWOWのドラマ「正体」で介護監修を務め、FMおだわらでパーソナリティとしても活躍中の特別養護老人ホーム潤生園施設長・井口健一郎氏に、介護事業者の立場から解説していただきます。

- 日時 2023年8月25日(金)15:00~15:50
(質疑応答含む)
- 開催形式 オンライン (Zoom)
- 講師 井口健一郎氏 (社会福祉法人小田原福祉会理事、特別養護老人ホーム潤生園施設長/介護福祉経営士2級)
- 参加費(税込) 会員 2,000円/非会員 3,000円
- 主催 一般社団法人日本医療経営実践協会
- 協力 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会
- お問い合わせ先 開催事務局 (株式会社日本医療企画内)
TEL: 03-3553-2863



井口健一郎氏

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
7月27日(木)	九州	組織に医療DXを浸透させるには 当院の失敗事例と成功事例からの報告	山内剛志氏 (社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院医事室兼情報システム室兼診療情報管理室、医療経営士2級)
7月28日(金)	九州	医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版改正への対応 ~中小病院での対応事例報告	小坂佑士氏 (医療法人社団久英会高良台リハビリテーション病院 医療経営士3級、医療情報技師、診療情報管理士)
7月30日(日)	東海	基礎から学ぶ経営分析コース 医療塾ワークショップ 第2回 競合分析	松田行生氏 (医療経営指導士、医療経営士1級)
8月20日(日)	東海	基礎から学ぶ経営分析コース 医療塾ワークショップ 第3回 財務分析	松田行生氏 (医療経営指導士、医療経営士1級)
8月25日(金)	本部	協会主催オンラインセミナー 介護事業者の視点から考察する医療・介護連携	井口健一郎氏 (社会福祉法人小田原福祉会 理事、特別養護老人ホーム潤生園施設長、介護福祉経営士2級)
8月25日(金)	東北	第17回みやぎ仙台ネットワーク 青森研究会合同 事例報告会	小野寺和清氏 (医療法人医徳会事務局長) 菊地俊輔氏 (医療法人芙蓉会経営戦略室室長) 佐竹直也氏 (医療法人松田会事務部部长)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

次代を担う医療経営人財をサポートする
月刊 医療経営士
Magazine for Medical Management Specialist Aug. 2023/8

特集
医療経営士必見の
リスクマネジメント
病院の
情報セキュリティ
対策

8月号
好評発売中!!

月刊 医療経営士

病院の情報 セキュリティ対策

■石井富美先生執筆の「MMS Woman Lab」好評連載中!
■「教えて! 医療経営士の育て方」には砂川市立病院が登場!

次代を担う
医療経営人財を
サポートする
“医療経営士応援マガジン”

詳細・ご購入は
コチラ

【お問い合わせ先】株式会社日本医療企画 ☎03-3553-2861 <http://www.jmp.co.jp>

第25回「医療経営士2級」
第39回「医療経営士3級」
資格認定試験 結果詳報

2級受験者・累計9,000人突破、 3級受験者・累計は55,000人超え

一般社団法人日本医療経営実践協会は、7月11日(火)、第25回「医療経営士2級」および第39回「医療経営士3級」資格認定試験(ともに6月11日〔日〕実施)の合格者を発表した。2級試験(10会場)は347人が受験し124人が合格(合格率35.7%)。3級試験(22会場)は1,020人が受験し391人が合格(同38.3%)した。両試験の結果詳細を報告する。

2級試験の合格率35.7%は過去最高を記録

第25回「医療経営士2級」資格認定試験

●結果概要(表1)

	第25回試験	第1~25回試験累計
受験者数	347人	9,203人
合格者数	124人	2,536人
合格率	35.7%	27.6%

受験者347人のうち124人が合格、合格率は35.7%(前回28.3%)となり、2級試験では過去最高の合格率となった。過去5回は合格者数が減少傾向で合格率も20%台で推移していたが、今回の試験で上昇基調となった。今年の5月に新型コロナウイルスが5類に移行したことで、これまで受験を控えていた方が満を持して受験をしたということも少なからず影響しているのかもしれない。

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	32人	9人	28.1%
30歳以上39歳以下	108人	38人	35.2%
40歳以上49歳以下	105人	41人	39.0%
50歳以上59歳以下	85人	25人	29.4%
60歳以上	17人	11人	64.7%

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	111人	46人	41.4%
医療関連企業	68人	19人	27.9%
医薬品製造・卸売	94人	31人	33.0%
医療機器製造・販売	16人	6人	37.5%
金融機関	30人	12人	40.0%
大学生・短大生	1人	0人	0.0%
その他	27人	10人	37.0%

	第39回試験	第1~39回試験累計
受験者数	1,020人	55,338人
合格者数	391人	23,573人
合格率	38.3%	42.6%

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	210人	75人	35.7%
30歳以上39歳以下	309人	124人	40.1%
40歳以上49歳以下	329人	125人	38.0%
50歳以上59歳以下	156人	60人	38.5%
60歳以上	16人	7人	43.8%

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	277人	108人	39.0%
医療関連企業	224人	87人	38.8%
医薬品製造・卸売	274人	125人	45.6%
医療機器製造・販売	65人	14人	21.5%
金融機関	87人	19人	21.8%
大学生・短大生	5人	0人	0.0%
その他	88人	38人	43.2%

※2級および3級試験における勤務先別の「金融機関」は第3回(第6回)から、「医薬品製造・卸売」は第16回(第23回)から、「医療機器製造・販売」は第21回(第30回)から追加された(カッコ内は3級試験の試験回)
※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する

●年代別構成(表2) 年代別で合格率を見ると60歳以上の方が64.7%と非常に高くなっている。また

●年代別構成(表5) 年代別の合格率を見ると前回からの大きな変動はなかった。

第39回「医療経営士3級」資格認定試験

●結果概要(表4)

受験者1,020人のうち391人が合格、合格率は38.3%(前回39.8%)となった。2級試験に比べ前回からの大きな変動はなかった。

●勤務先別構成(表6) 勤務先別の構成では受験者数では最多の病医院勤務者が合格率39.0%、受験

た受験者数・合格者数のボリュームゾーンである30代40代でも30%台後半という高い合格率となっており、30代40代の働き盛りの医療経営士が今回の合格率を押し上げた要因になっていると言える。

●勤務先別構成(表3)

勤務先別では受験者、合格者とも病医院勤務者が最多、合格率も41.4%と最も高い結果となった。次いで受験者数の多かった医薬品製造・卸売勤務者でも合格率は30%を上回っており、勤務先別構成の比率も合格率の高さに影響していると言える。

者数ではわずかに病医院勤務者に及ばなかった医薬品製造・卸売勤務者が45.6%と最も高い合格率となり、合格者数では125人となり、合格者数では125人と最多となっている。その一方で医療機器製造・販売と金融機関勤務者ではどちらも21%台と苦戦している様子が見え始める。大学生・短大生では5名が受験したが合格者はいなかった。

全年代でほぼ40%前後となっているが、最も高い60歳以上と最も低い29歳以下では8.1ポイントの差があった。

診療報酬、介護報酬、障害福祉等サービス報酬のトリプル改定をはじめ、2024年は医療分野において大きな転換点となる。今回合格された皆さまが、これからの新しい医療の流れのなかで、その実力を十分に発揮し、活躍されることを期待している。

受験エントリーまもなく締切! 7月27日(木)まで!

第11回 医療経営士1級 資格認定試験

試験日	受験形式	試験エントリー期間	7月3日(日)~7月27日(木)
第一次試験	①短文記述形式(10題・90分) ②論文記述形式(2題・90分)	受験料支払締切日	7月28日(金)
第二次試験	面接試験 ①口頭試験(プレゼンテーション形式) ②個人面接	受験料	50,000円 <small>※税込、払込手数料別途</small>
		試験会場	東京都(中央区内)

医療経営士の最上級位にチャレンジしよう!